

湘南日独協会 会報

Der Wind

(風)

湘南日独協会会報(Der Wind)
VOL. 15. NO. 2. 通巻87. 発行 2013. 3. 10

湘南日独協会
Japanisch-Deutsche Gesellschaft in Shonan
事務局: 〒251-0025 藤沢市鵠沼石上1-1-1
江ノ電第2ビル7F
TEL0466-26-3028 / FAX0466-27-5091

第14回定時総会開催

平成25年1月27日 湘南アカデミアにて開催

織田会長より創立15周年を迎える当協会運営への会員並びに関係者の支援への謝辞が述べられ、周年記念行事(後記)への参加と支援の要請がありました。

大石副会長が議長に選任され次の様に議事が進められました。

議案

2012年度事業報告 織田会長 詳細2頁

2012年度決算報告 大澤理事 詳細3頁

監査報告

赤羽根幹事より決算は適法で適切であるとの監査報告がなされると同時に退任のご挨拶がありました。

2013年度事業計画 織田会長 詳細2頁

2013年度予算案 大澤理事 詳細3頁

ドイツ語講座、アムゼル活動報告

松野理事より4月の新講座をも含めての報告と大久保理事よりアムゼル10周年コンサート等の活動が報告されました。

役員選出

西澤英男氏以外の理事は留任、監事赤羽根恵吉氏は退任し西澤英男氏の就任が承認されました。



(創立以来の監事を退任された赤羽根氏へ感謝の花束を大澤理事より贈呈)

新入会員紹介 (敬称略)

蛸子 紀子 神林 邦 佐藤 昭義
高野 淳子 山室 雅子 和田 敏子

湘南日独協会の活動予定

■ Singen wir zusammen! 歌で楽しむドイツ語 第6回
テーマ「Fruehling -春-」

日時 3月10日(日) 15:00~16:30

会場 江ノ電第2ビル4F 湘南アカデミア

会費 1,000円

申込み、問合せ: 木原

Tel: 0466-28-9150 E-mail: jdgs@jcom.home.ne.jp

■ 第85回例会 湘南日独協会創立記念特別講演会
「二種類の即席造語— 生きたドイツ語の面白さ —」

会員 名誉会長 岩崎 英二郎 先生

「即席造語」なる術語は存在しない。ドイツ語の語り手ないし書き手がその場の思いつきで作る言葉をドイツ語では Augenblicksbildung と呼ぶが、「インスタントラーメン」、すなわち「即席ラーメン」に因んでの筆者の思いつきにすぎない。さてどのようなラーメンが出来上がるものやら、おいしいラーメンか、まずくて食えないラーメンか。乞うご期待。(岩崎先生談)

日時 3月24日(日) 14:00~16:00

会場 江ノ電第2ビル7F 湘南アカデミア

会費 1,000円

懇親会モキチ(会費3,500円)を予定しています

■ Singen wir zusammen! 歌で楽しむドイツ語 第7回
テーマ「Wanderung」

日時 4月14日(日) 15:00~16:30

会場、会費並びに申し込む先は上記、3月と同じ

■ 宮下啓三氏を偲ぶ会

日時 4月22日(月) 13:00~17:00

会場 Ricks Cafe 藤沢駅より徒歩5分

出席予定の方には案内図をお送りします

会費 4,000円

■ 4月懇話会

「日本滞在3年—ドイツ女性から見た日本—」

スピーカーはタベヤ・カウフさん(日独協会東京勤務、オクトーバーフェストの司会でお馴染み)

日本そして日本の男性はどのように映っているのでしょうか。なおスピーチは日本語です。

日時 4月24日(水) 18:00~20:30

(次頁へ続く)

(行事予定の続き)

会場 藤沢産業センター 6F コミュニティールーム 2
会費 (飲食費を含む) 3, 500円

■5月例会

湘南日独協会創立15周年記念、
合唱団アムゼル10周年記念コンサート
日時 5月19日(日) 14:00開演
会場 鎌倉芸術館小ホール
入場券 1,000円
詳細は同封のチラシをご覧ください

■ドイツ旅行

湘南日独協会創立15周年記念
東部ドイツ・ユネスコ世界遺産を訪ねる旅
5月21日出発31日帰国
申込期限が迫っています。ご照会お申込み先
東日観光: 担当阿部 03-5148-1785

■第86回例会 講演会

「文化都市ベルリンの魅力」
講師 寺田 雄介氏 会員 理事
2年間のベルリン留学を終えて昨年帰国された若きドイツ
文学研究者が、今やEU希望の星であるドイツの首都ベル
リンの魅力を大いに語ります。
日時 6月30日(日) 15:30~17:00
会場 江ノ電第2ビル7F 湘南アカデミア
会費 1,000円
講演終了後懇親会(別料金)を予定しています

総会報告の詳細

2012年度事業報告

①例会他

- 1月29日 第79回 西澤氏解説 映画「寅さんの男はつらいよ」観賞
- 3月25日 第80回 川口マーン恵美氏講演会「ドイツの報道にみる福島原発事故とドイツエネルギー政策の行方」
- 5月27日 第81回 松野義明氏講演会「福島原発の現状と問題点」
- 7月29日 第82回 昔農英明氏講演会「ドイツにおける移民問題の現状」
- 9月23日 グランドホテル湘南にて 湘南オクトーバーフェスト開催
- 11月25日 第83回 橋本孝氏講演会「グリムこぼれ話」
- 12月15日 KKR 江の島ニュー向洋にて望年会開催

②懇話会

- 2月25日 スピーカー西山忠壬氏「ポルトガル旅行記よもやま話」
- 4月28日 スピーカー大澤由美子氏「どうして不器用なの?—小学生の指導を通して—」
- 6月23日 スピーカー大石則忠氏「ヤンマー100周年と私

12月9日 スピーカー三谷喜朗氏「仕事で接したドイツ企業・ドイツ人」

③歌で楽しむドイツ語(SWZ)

- 9月9日 第1回 ビールを飲みながら歌う歌
- 10月14日 第2回 広く親しまれている歌
- 11月11日 第3回 クリスマスの歌
- 12月9日 第4回 学生歌+家事の合間に歌う歌

④全国日独協会総会へ出席

4月17日 東京ドイツ文化センターでの総会、懇親会

⑤日独交流150周年記念菩提樹植樹

4月11日 鎌倉市川喜多映画記念館庭園
(藤沢市奥田公園、江ノ電江ノ島駅構内には前年植樹)

⑥鎌倉、藤沢市の国際交流イベントへの参加

10月28日 かまくら国際フェスティバル、高徳院
11月11日 ふじさわ国際交流フェスティバル、
藤沢駅北口サンパール広場

⑦広報活動

会報(Der Wind) 6回(通巻80~85号)発行
ホームページのコンテンツの充実

⑧ドイツ語講座

初級、中級・会話、中級・購読の3コースを開講

⑨合唱団「アムゼル」の活動支援

日独協会内外の行事へ参加 40余名の団員数

☆☆☆☆☆☆

2013年度事業計画

「活動方針」

- ①新規会員獲得及び会員定着のための魅力あるイベント企画と事業展開
 - ②地域人材が担う独語圏芸術・文化活動の育成支援
 - ③青少年を主体とする日独文化交流プログラム等への支援
 - ④異文化理解の手段となるドイツ語講座の拡充
 - ⑤会員のご期待に応えるためのご意見、ご提案の聴取
- 「事業計画」
前年度実施事業の他、協会創立15周年記念事業として下記を計画

- ①岩崎英二郎名誉会長による記念講演会
- ②アムゼル発足10周年記念コンサート
- ③記念のドイツ旅行の実施
- ④ワイマール独日協会来日応対

ドイツ語を始めてみませんか?

まったくはじめての方を対象に、ドイツ語の入門講座を開講します。勿論もう一度基礎を学びたいとお考えの方にもピッタリです。

講座は4月20日より7月6日までの、計10回(1回90分 土曜日11:30)です。
その後はご自分のご希望のレベルの会ったクラスへ移って頂くことが出来ます。

詳しくは同封のチラシをご覧ください。またご質問があればご遠慮なくご照会下さい。

12 年度決算並びに 13 年度予算 (千円)

1 月例会映画会

収入の部	12 年度	13 年度
1. 会費等収入		
前期繰越金	4 5 4	7 7 5
入会金	2 5	2 0
年会費	3 4 9	3 7 0
寄付金	2 0	0
合計	8 4 8	1, 1 6 5
2 事業収入		
例会、懇話会	1, 1 5 0	1, 2 0 0
ドイツ語講座	1, 6 1 9	1, 6 0 0
その他事業	3 6	1 0 0
合計	2, 8 0 5	2, 9 0 0
収入合計	3, 6 5 3	4, 0 6 5

支出の部

1. 運営経費

会報作成	5 4	1 3 0
通信費	1 1 6	1 2 0
事務局経費	1 5 5	2 2 0
事業費 (SWZ 他)	1 5	* 3 5 0
雑種費他	5 7	3 0
合計	3 9 7	8 5 0

2. 事業経費

例会・懇話会	1, 1 0 6	1, 5 0 0
ドイツ語講座	1, 3 6 0	1, 4 0 0
合唱団育成費	1 5	1 5
合計	2, 4 8 1	2, 9 1 5
支出合計	2, 8 7 8	3, 7 6 5
差し引き剰余金	7 7 5	3 0 0

* 創立 15 周年記念、アムゼル 10 周年等
り行事が予定されている。

「未完成交響楽」を鑑賞して

会員 大倉 薫



(大倉薫氏)

1月27日(日)、楽しい解説と共に映画「未完成 交響楽」鑑賞会がありました。いろんなクラシックの作曲家について深く知識もないのですが、シューベルトはよく聴く好きな作曲家で、歌曲などは心が温まります。

映画の始まりでいきなりギターを質屋に入れるシーンがあり、音楽家にとって楽器を質に入れるほどホントに貧乏していたようなのです。以前、ウィーン旅行の折に「シューベルトの家」を見学し、何も無い住まいを思い出しました。

当時の田園風景や背景、あの中で育まれたのかと思うような映画全体に流れるシューベルトの美しい曲、時々場面へのぞくユーモアなど、映画の中にどっぷりと浸っていました。あるシーンでいきなり、恋のお相手が美しいソプラノでセレナーデを歌った時は、映画の中での現実離れしたこととも思いますが、とてもステキでした。

シューベルトはもてるタイプの男性ではなかったらしいですが、彼を慕う質屋の娘さんは良き協力者でした。彼は気のある素振りを見せながら、でも他の女性に心を奪われてしまいます。たった31歳で逝った若き日のシューベルトのロマンスが伺えます。いろんな音楽を聴くようになってから想像する彼の抽象的な人となりは、シューベルトに扮した俳優(ハンス・ヤーライ)により私の中で少しカッコよく具体化されたようです。

広い田園の中の小さな祠のマリア像、それを見ながらの「アヴェ・マリア」が流れるラストシーンはとても印象に残りました。趣味で楽器を弾いていますが「アヴェ・マリア」を演奏する度にあのマリア像が思いだされることと思います。「未完成交響曲」と命名された理由は諸説あることを伺いましたが、願わくば「わが恋の成らざるが如く、この曲もまた未完成なり」の映画の余韻のままであって欲しいと思いました。



(映画会で西澤講師の解説を聴く会場)

ドイツ語講座ご案内 2013年・春夏期

[初級] 土曜日 11:15 ~ 12:45

講師: 中川 純子 Arndt-Olaf Friess

テキスト Modelle 1

[中級・講読] 土曜日 10:00 ~ 11:30

講師: 松野 義明

テキスト 「岡田・岩崎ドイツ文法」 Luise Rinser

「Die Rote Katze」

[中級・会話] 土曜日 9:30 ~ 11:00

講師: 中川 純子 Arndt-Olaf Friess

テキスト Modelle 2

会場: 藤沢カトリック教会 受講料: 43,000 円

(湘南日独協会会員には割引特典があります)

[申込・問合せ先]

松野: TEL&FAX 0467-32-7300

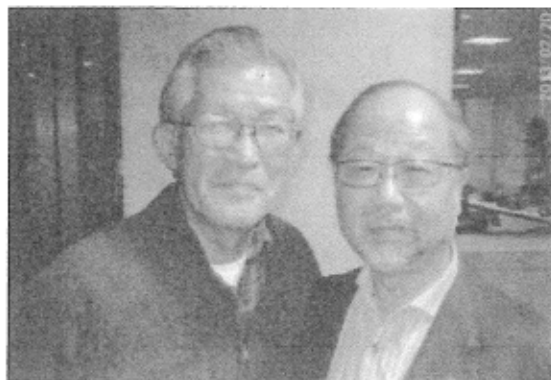
e-mail: matsunoy@kamakuranet.ne.jp

詳細は同封チラシをご覧ください。

2 月懇話会

「ドイツに学んだこと」に参加して

スピーカー： 会員 大久保 明氏
 会員 上原 勲



(上原氏向かって左と大久保氏)

今回の大久保氏のお話は小生にとってとても楽しみでした。少しでもドイツ人のメンタリティを垣間見てみたいと思っていましたから。さて、兄はそれぞれ4～5年の長さで3度に渡り渡独、銀行の業務に携わってこられました。仕事上ドイツ人と協働、指導にと、かなりしっかりとドイツ人の社会を見てこられたと思います。

兄は2012年5月にTVK（テレビ神奈川）40周年特別番組の取材旅行に同行しました。今回のテーマはその折に取材した、ドイツの環境と再生可能エネルギーの問題に焦点を当ててのお話でした。ドイツは国家としてすでに脱原発を決定しています。しかしどうやって将来の電力エネルギーを賄っていこうとしているのかは大きな関心事です。

最初の取材先はシュヴァルツヴァルトにあるフライブルク大学森林・環境学部育林学科でした。森林管理官を育てています。森林管理官は森に関わることは何でもすることのこと。例えば、或る物を作るのに適した木材を見つけたりすること、で、人気の職業です。

ドイツは森の美しい国で、公有でも私有でも、誰でも自由に森を歩き、親しんでいます。森は水、命と繋がっています。フランクフルト市では市民が「森に行く日」がある位です。

次いで、バーデン・ヴュルテンベルク州のカールス・ルーエの研究所を訪ねました。再生エネルギー転換のバイオマスの研究所です。研究者は元々原子力の研究者でしたが、脱原発が決まってから直ちに再生エネルギーの研究に取り掛かったそうで柔軟な対応です。

エネルギーの丘と呼ばれるゴミの山がありました。国内には大戦中に破壊された都市の残骸の山があるそうです。ゴミ山から発生するガスを熱エネルギーとしたり、風力や太陽光発電を積極的に進めています。バイオマスの材料を東南アジアや南米から輸入することも考えているようですが、研究者は、ドイツはドイツのやり方があり、日本は日本のやり方を考えたらよいと話していました。

面白いのは「レンタル羊」でした。ゴミ山は雑草が生えます。リースした羊にこの雑草を食べてもらうのです。似た話は日本でも聞くとおりました。これらの事業は公と民とが知恵と資金を出し合って取り組んでいます。

電力は中央の電力会社からの送電ではなく、地元の小規模発電で賄う、地産地消に変わってきており、小回りの利く供給体制の確立を考えているそうです。更に、小さな小屋付きの小規模農園を借りて野菜や果物の自給自足をすることに関心が高まっています。自分達のは自分達でしようという自立の考え方が見てとれます。

兄が一番印象に残っている言葉は、“auf eigene Gefahr”（自己責任）だそうです。この言葉は随所に見られるようです。日本では、まず安全のためとして閉鎖か、設備を作ったりしますが、ドイツではオープンのです。商業の世界でも、同業の店が近くで競合せず、お互いの住み分けを大切にしているとか、自分の仕事は何であれ、各々が誇りを持ち、他人の仕事も尊重する、というお話から自立は自律でもあると強く感じました。

大久保兄のお話を聞いて、小生は、新しい状況に対してドイツ人が力を合わせて挑戦する勤勉さと逞しさ、そして奥の深さを感じさせられました。



(懇話会会場)

編集後記

定例総会が終了し、創立15周年の新年度が始まりました。記念の講演会、コンサート、旅行等沢山の行事が予定されています。皆さんの参加をお待ちしております。

新入会員も今月号（2月迄に手続きを終了）は6名を紹介しておりますが、3月に入っても既に数名の方をお迎えしております。

ドイツ語講座に入門コースも新たに加わり、歌で楽しむドイツ語も6回目を迎えました。合唱団「アムゼル」のメンバーも40名を超え、湘南日独協会は多くの皆様のご支持を頂き充実した会となりました。

これからも特に若い会員の参加を皆様のご協力得て推進したいと思っております。その為にも会員の皆様のご意見お考えを是非お聞かせ下さい。ホームページを通じてのメールも可能です。（大久保）

★★湘南日独協会のホームページ★★

<http://jdg-schonau.ciao.jp/>

「全国日独協会一覧」からもアクセス出来ます